

哲学 5

木4 高橋久一郎先生

平成20年度版(2008)
授業終了
Already Finished

キーワード: デカルト ルネ・デカルト Rene Descartes 情念論 Les passions de l'ame

Web 授業のテーマに関連したデータベースやサイトです。

- ・ Japan Knowledge ジャパンナレッジ【学内限定】
→ キーワードを使って検索すると「日本大百科全書」などの辞典の該当項目を読むことができます。
- ・ Wikipedia
→ 「ウィキペディア」は利用者が自由に執筆できるインターネット上のフリーの百科事典です。「デカルト」の項もあります。
- ・ The Internet Encyclopedia of Philosophy
→ 哲学に関するインターネット上の百科事典です。使用言語は英語。「Rene Descartes」の項もあります。
- ・ 「Biography Resource Center」(BRC)【学内限定】
→ 英語の人物事典です。「Rene Descartes」で検索すると、複数の事典の項目や関連する雑誌記事を読むことができます。

図書 授業のテーマをつかむにはまずはここから始めましょう。

- ・ 『情念論』(岩波文庫) デカルト著 谷川多佳子訳 岩波書店 2008
→ この授業指定の教科書です。
[本館閲覧室4階小型 135.23/JOU]
- ・ 『方法序説』(岩波文庫) デカルト著 谷川多佳子訳 岩波書店 1997
→ いっさいの外的権威を否定して到達した思想の独立宣言といわれる、「われ思う、ゆえにわれあり」。
[本館閲覧室4階小型 135.23/HOU]
- ・ 『デカルト『方法序説』を読む』(岩波セミナーブックス86) 谷川多佳子著 岩波書店 2002
→ 『方法序説』のテキストに即しながら、この有名な著作が今日までどのように読まれてきたのか、また現代思想とどのようにかかわるのかを講じ、デカルト思想の全体系を平明に読み解いてゆく入門書。
[本館2階閲覧室 135.23/DEK]
- ・ 『デカルト「われ思う」のは誰か』 齋藤慶典著 NHK出版 2003
→ 究極の懐疑を進めた哲学者の行き着く先はどこか、神の存在証明はありえるか、極限の思考の営み。
[本館2階閲覧室 135.23/DEK]
- ・ 『デカルト哲学の体系 自然学・形而上学・道徳論』 小林道夫著 勁草書房 1995
→ デカルト哲学をテキストの内実に忠実かつ正確に再構築し、体系的全体的に論述。
[本館2階閲覧室 135.1/KO12]

デカルトに関する図書は、分類番号が「135.2」の書棚にありますので、直接その場所に行って、どのような本があるのか手にとってみましょう。

**** の付いている資料は、授業期間中(4月～8月上旬)は本館1階 授業資料ナビコーナーにあります。****

論文 関連する論文を読むと、そのテーマについて詳しい情報・最新の情報が得られます。

- ・ 『現代デカルト論集――～』 デカルト研究会編 勁草書房 1996
→ デカルト哲学に関する3巻からなる論文集。研究者の出身国別に第 1巻フランス篇、第 2巻英米篇、第 3巻日本篇。第 3巻には「日本におけるデカルトに関する文献(1979-94)」と「テキストデータベース・ルネ」も収録。
[本館閲覧室2階 135.1/G34]

雑誌 雑誌には図書よりも細かいテーマを扱った論文が載っているので、実際に手にとって眺めてみましょう。

- ・ 『思想』 岩波書店 月刊
→ 哲学、人文・社会科学の研究者と学生向けの雑誌です。
[本館雑誌閲覧室 雑誌分類:10シ]

参考図書(辞書・事典等) 初めてのテーマは、百科事典や主題別の事典などでおおよその内容をつかみましょう。

- ・ 『西洋思想大事典』1-4巻・別巻 フィリップ・P. ウィーナー編；荒川幾男ほか日本語版編集 平凡社 1990
→ 西洋思想を項目別に解説。
[本館参考130.3/SE19]

デカルトをより深く知るために

デカルトはどんな人だったのでしょうか。さまざまな面からデカルトの人生・性格・思想に迫ります。

- ・『デカルト伝』 ジュヌヴィエーヴ・ロディス＝レヴィス著 飯塚勝久訳 未来社 1998

→ デカルト研究の世界的権威が、著作や膨大な数の書簡から数々の新事実を明らかにし、「近代哲学の祖」デカルトの伝記を3世紀ぶりに書き変えたといわれています。

【本館2階閲覧室 135.23/DEK】

- ・『兵士デカルト 戦いから祈りへ』 小泉義之著 勁草書房 1995

→ デカルトを戦争に参加した哲学者の系譜に位置づけ、「いかに魂を鍛えるか」という自らの仕掛けた孤高の「戦争」を解説。

【本館2階閲覧室 135.23/HEI】

- ・『疎まれし者デカルト 十八世紀フランスにおけるデカルト神話の生成と展開』 山口信夫著 世界思想社 2004

→ 「オランダで迫害され、フランスに疎まれた」デカルトの思想が、ヴォルテールなど啓蒙主義者たちの批判にもかかわらず、なぜ18世紀フランスを生き抜くことができたのか。謎を解き明かす、広範な文献渉猟。

【本館2階閲覧室 135.23/UTO】

- ・『デカルトの暗号手稿』 アミール・D・アクゼル著 水谷淳訳 早川書房 2006

→ 数学者としてのデカルトが残した謎を、万能の天才学者ライプニッツが読み解くポピュラーサイエンス。

【本館3階閲覧室 410.23/DEK】

授業資料ナビゲータ(PathFinder)入口 (<http://www.ll.chiba-u.ac.jp/pathfinder/>)

作成:千葉大学附属図書館 2008.4.7